

## 「教師力」と「学校のチーム力」を高める校内研修 ～教職員相互が語り合う協働的な学びの場の構築～

千葉県君津市立貞元小学校 野崎 秀二

### I 現状と課題

#### 1 現状認識

新たな知識や技術の活用により社会の変化のスピードが一層加速する中、学校教育には、高い志を持ち自立した人間として他者と協力し、未来を切り開いていく人材の育成が求められる。そのためには教員は自らの指導力を高め人間性を磨かなくてはならない。しかし日々の業務に追われ多忙感を抱き研究・研修に取り組んでいる現状がある。

校長には自校の教育課題と教員個々の教育課題を明確にしながらかつて関連付け、チームとして質の高い教育を実践する学校と確かな指導力を発揮できる教員を育成するため、研究研修体制を構築することが課題となる。

本校は千葉県君津市の市街地に近い農村部に位置し、歴史があり地域との連帯感があるが、この10年間で宅地造成が進み児童数が急増している。それに伴い教育活動の大幅な見直しを進めている。

#### 2 課題分析・アプローチの視点

##### (1) 課題分析

経験の浅い若年層教員が多い中、中堅・ベテラン層の研修意欲は高いものがある。素直で素朴な児童が多く、算数の学力が全体的に低い。伝統的な行事や活動が多い一方で、新学習指導要領移行期に伴い、超過勤務が日常化している。

##### (2) アプローチの視点

教育観、子ども観、教師観を共有することで、課題に向かって力を結集し、チームで子どもを育てる意識と信頼関係を深める。

教師力をA授業力、B生徒指導力、C自己研修力、D熱意や情熱、E組織力の5つと捉える。EがABCDに好影響を与え、さらにEが高まるという好循環を生む教育課程と研修形態の構築に取り組む。

### II 研究の概要

#### 1 教師力を高める組織づくり

- (1) 伝統的な行事や活動を見直し、研修時間や子どもと向き合う時間、授業時数の確保をする。(マーチング終了、縦割り活動からペア活動、全校遠足廃止)
- (2) 学年職員構成と校務分掌では、低・中・高学年において、ベテラン・中堅・若手をバランスよく配置する。
- (3) 学校の課題と教員個々の課題の関連付けを行い、チーム意識を育む。
- (4) 年間22回の校内研修(内4回の研究授業日)を設け、ミニ参観がいつでも行える監督体制を整える。

#### 2 校内研修のビジョンや目標の共有

- (1) 児童の学びの実態分析から、授業改善のための重点教科と内容の絞り込みをボトムアップで行い、今後の

方向性を共通理解する。

- (2) 算教科を研究の重点教科とし、全員で授業改善に取り組む。統一した①流し方 ②板書 ③ノート指導に挑戦する。道徳は行事に合わせた重点期間を設け、教科横断的に取り組む。教育相談では、おすすめ相談法や情報共有方法、専門機関へのつなげ方を学ぶ。
- (3) 授業前・参観・協議会で「こんな授業を創りたい」「こんな児童の姿でありたい」という意見をシェアし、チームで一つの授業を練り上げていく。授業の流し方、児童の語りや姿から新たな発見や課題、今後の取り組みを語り合っていく。

#### 3 若年層研修の実践

- (1) 経験年数7年以下教員が作成した計画に基づき、①ベテラン教員の語りを聞く研修、②若年層教員が相互に授業を参観し合い授業力向上を目指す研修に取り組む。
- (2) 管理職・ベテラン・分掌主任・養護・事務が講師となり、語り合いを通して、教員としての資質の向上と全体を見回す意識の醸成を図る。

### III 成果と課題

#### 1 成果

- (1) 全職員が授業づくりへの意欲と見識を深めている。教壇に立つときも参観するときも、児童の姿を観察し児童の成長や自身の成長に喜びを見いだすようになってきている。若年層教員もベテラン教員も授業力だけでなく生徒指導力、自己研修力、熱意や情熱を語り合いの中から暗黙知に学んでいる。
- (2) 学校全体に、チーム貞元としての意識の高揚がみられる。

#### 2 課題

次年度に向けたプロジェクト会議を持つ時期を早め、保護者・地域との積極的な対話と連携が求められる。研修内容は絞り込みをし、欲張りすぎない。

### IV 提言

- 1 どのような行事や活動にも教育的価値があるから削減に踏み切りにくい。説得力のある説明ができるか、教師でなくてもできる活動を手放せるかが鍵となる。校長には計画的に行われる校内研修と日常的なOJTが好循環するための組織づくりが求められる。
- 2 チームで学び合う校内研修を実現することで「チーム力」を高めるとともに、教員個々の資質能力向上にもつながり、わかる授業、児童の学力向上へと波及する。
- 3 研究研修内容の方向性や目標をボトムアップで共有することで、継続して意欲的に研修に取り組める。